

さつま町内の20区公民館が取り組んで特色ある活動、イベントなどを紹介しています。



館長 谷口流清さん

白男川区は、さつま町の市街地から西へ約5kmに位置し、東郷山田地区と隣接し、北側には北薩広域農道が通っており、薩摩川内市方面への西の玄関口となっています。

基幹産業は、昔からの水田地帯であり、水稻を中心に畜産や施設園芸などによる複合型の農業形態であるが、高齢化により専業農家は年々減少しています。

地域の活動として、夏まつり、小学校と合同の文化祭や元旦の新年年賀式、班対抗による区グラウンドゴルフ大会など様々な活動を行っています。



◆人口 467人

◆世帯数 194世帯

◆公民会数 3公民会

地域活動の拠点施設



平成10年4月、中山間地域総合活性化整備事業で建設された「紫陽館」が開館、地域活動の拠点施設として有効活用されており、また、年間を通じて小学生から大学生などの合宿にも利用されています。

さらに、きらら温泉も、地区内外から年間延べ18,000人程度の利用者があり、地域の語らいの場になっています。

景勝地



紫陽館下を流れる泊野川(きらら川)の河川敷は、約1kmに渡り歩道や階段が整備されており、夏場になると地区内外から川遊びやキャンプに訪れた家族連れなどで賑わっています。また、白男川区では、ニジマスを放流して釣り大会を行う計画をしています。

伝統的行事



平成10年以来途絶えておりました「鷹踊り」が、昨年度から地元の方々の指導のもと、小学3年生以上の児童が伝承しています。

夏まつりをはじめ、敬老会や運動会、学習発表会で披露していますが、久しぶりに目にする「鷹踊り」を見て、懐かしく思われ、子ども達の雄姿に感動されています。

イベント



地域の活性化、区民の融和を図る目的で、毎年8月15日に「夏まつり」を開催しています。地区内外から多くの来場者をはじめ、お盆に帰省された方々との再開で賑わい、地元五ツ太鼓や鷹踊りの披露、お楽しみ抽選会などが行われ、来場者は大いに楽しまれています。